

ウィークリー・ブレッド・オブ・ライフ

(2025年11月3日(月)～9日(日))

岸和田聖書教会

牧師 栗原純人

「ブレッド・オブ・ライフ」とは「いのちのパン」(ヨハネ 6:48)。「わたしはいのちのパンです」と言われるイエス・キリストさまに目を向け、みことばによって主を食しましょう。今日一日の力です。以下の手順を参考に聖書を読みましょう。

1. 静まります。「しかし私は 義のうちに御顔を仰ぎ見 目覚めるとき 御姿に満ち足りるでしょう。」(詩篇 17:15)。神さまがあなたを呼んでおられます。
2. 声に出してその日の聖書日課を読みます。
3. 気づいたこと、わからないことなどをノートに箇条書きし、その後『みことばの光』、このブレッド・オブ・ライフの文章を読みます。わかったことがあったら、さらに書いてみましょう。
『みことばの光』は一冊(一ヶ月) 430 円(注文は栗原弥希姉まで)。
4. もう一度、聖書日課を読みます。違う響きがあるでしょうか？
5. 祈りましょう。実際に声に出して。そして祈りの中心部分を書いてみましょう。一日の終わりに、今朝の聖書を思い起こし、みことばがどのように生きたか、思い巡らしながら、おやすみなさい。

今週も「エレミヤ書」から学びます。

11月3日(月)

今日の聖書日課：エレミヤ 31：1～22

諸国の民よ、主のことばを聞け。遠くの島々に告げ知らせよ。「イスラエルを散らした方がこれを集め、牧者が群れを飼うように、これを守られる」と。

エレミヤ 31：10

「散らした」とは、主がイスラエルの罪のゆえに、さばかれ、外国に散らされたということ。「集め」とは、主がその契約の愛のゆえに(3) 再び集められる、ということ。主はこのことを「諸国の民」「遠くの島々」、すなわち異邦人、世界中の人々に告げよ、と言われました。これは世界宣教のことばです。全世界が、すべての国の人々がイスラエルの民に対する主の愛を知り、自分たちにも同じ愛が注がれていることを知るのです。

あなたへの神さまの愛を、あなたのまわりの人々が知るのです。知って、神さまを信じるのです。

11月4日(火)

今日の聖書日課：エレミヤ 31：23～40

これらの日の後に、わたしがイスラエルの家と結ぶ契約はこうである。一主のことば一。わたしは、わたしの律法を彼らのただ中に置き、彼らの心にこれを書き記す。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。

エレミヤ 31：33

古い契約はイスラエルの民によって破られました(32)。新しい契約があります。律法、みことばが彼らのただ中、心に置かれ、刻まれる。そんな契約。それはペンテコステのときに成就しました。イエスの弟子たちに聖霊が降ったのです。「わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる」という旧約聖書において何度も語られたこのことばが、改めて真実に示されるのです。この新しい契約は、やはりイスラエル、イエスの弟子たちから始まって、世界中に広められました。

11月5日（水） 本日は祈祷会の日です。

今日の聖書日課：エレミヤ 32：1～25

ユダの王ゼデキヤは、エレミヤを監禁するとき、次のように尋ねたのだった。「なぜ、あなたはどのように預言して言うのか。『主はこう言われる。見よ。わたしはこの都をバビロンの王の手に渡す。そして彼はこれを攻め取る。』」

エレミヤ 32：3

ゼデキヤ王がエレミヤに語ったことばは、この節で終わりません。5節まで続きます。それはエレミヤが語った主のことば、預言でした。二重かっこで書いてあることばです。ゼデキヤはエレミヤが語ったことばを、こんなに長いことばをそらんじて言うことができました。しかし、このことばを信じて従いませんでした。

みことばを学び、暗唱するときに、神さまのメッセージはあなたに語られているのです。あなたは、どのように応答しますか？

11月6日（木）

今日の聖書日課：エレミヤ 32：26～44

あなたがたが、『この地は荒れ果てて、人も家畜もいなくなり、カルデア人の手に渡される』と言っているこの地で、再び畑が買われる。

エレミヤ 32：43

「なぜ、ユダがバビロンに滅ぼされるなんて預言を語るのか？」と問いかけるゼデキヤ王にエレミヤが答えたことば。本当に長い（6～44）。エレミヤは改めてユダがバビロンに滅ぼされるそのさまを告げ、しかし冒頭の聖句。カルデア人（バビロン）に渡されたこの地（ユダの地）が再び買われる、すなわち主の民の所有となるのです。エレミヤはそこまで、ゼデキヤに語ったのです。主のご計画を。

ゼデキヤはこれを受け止めたでしょうか？ まだまだエレミヤ書は続きます。

11月7日（金）

今日の聖書日課：エレミヤ 33：1～26

エレミヤに次のような主のことばがあった。「あなたはこの民が、『主は自分で選んだ二つの部族を退けた』と話しているのを知らないのか。彼らはわたしの民を侮っている。『自分たちの目には、もはや一つの国民ではないのだ』と。」

エレミヤ 33：23～24

「この民」とはユダの民のこと。「二つの部族」とはユダとイスラエルのこと。主が彼らを退けたと考えるのは無理もないこと。実際に主のさばきがくだされたのだから。しかし主はそんな彼らが「わたしの民を侮っている」と言いました。それは、回復のみことばを聞いているのに、信じないであきらめているからです。

あなたにもみことばが語られています。それが希望ではなく、あきらめになってはいませんか？

11月8日（土）

今日の聖書日課：エレミヤ 34：1～22

ただ、主のことばを聞け、ユダの王ゼデキヤよ。主はあなたについてこう言われる。あなたは剣で死ぬことはない。

エレミヤ 34：4

切羽詰まったとき。ただ、主のことばを聞け！ これです。これだけです。

11月9日（日）礼拝説教箇所：ヨハネ 6：1～15「イエスさまのために」子ども祝福式をします。